

マルチセンサー管理

様々なセンサーの統合管理・表示が可能

冷凍・冷蔵庫の温湿度センサー、生け簀の水位センサー、水温異常アラートを一元管理して定期的に通信を行い、定期レポートやアラート通知にて状況把握を行っています。



60年以上の歴史を誇る老舗料亭

株式会社 稚加榮 様

■所在地 福岡市中央区大名 2 丁目 2-17
■URL <https://chikae.co.jp/>

博多料亭 稚加榮は、昭和 36 年に福岡市中央区大名に鳥料理店として創業しました。縦 12 メートル、横 3 メートル、深さ 1.2 メートルの自慢の生簀では、九州各地で水揚げされたさまざまな活魚が目で、耳で、そして舌で、お越しいただくお客様の心を満足させています。昭和 59 年からは、料亭ならではの味付けにこだわった辛子明太子の製造・販売を行っており、全国から問い合わせがあるほどの評判で博多の定番の商品として大変喜ばれています。

複数センサーの一元管理及びアラート発信により警護員様の見廻りにかかる経費を削減

導入背景

温湿度、生け簀水位・水温アラートなど監視項目が多岐に亘り巡回が必要であった

稚加榮様では、夜間警備を有人的に行っておられました。防犯、機器の不具合、生け簀の状況管理など管理する項目は多岐に亘っていました。運用コストや異常発生時の連絡体制などの課題に加え、HACCP 対応等衛生管理面の強化も踏まえて、防犯警備の見直しと温湿度自動計測化をご検討頂き、更にお客様からのご要望により、生け簀の水位及び水温アラートの監視を自動化する統合的な管理システムをご導入頂きました。

導入理由

①異なる管理項目のセンサー端末（温湿度・水位・水温アラート）を統合管理して同じ画面上に表示

温湿度センサー（-40℃～55℃）や生け簀の水位センサー（±0～+100cm）など種類の異なる端末データを集約して管理

②各センサー毎にアラートの閾値や通知先を設定可能

センサー個々にアラートの閾値を設定可能で、必要に応じて通知先を設定して重要度（緊急性の高い）に応じて送信します。

③定期レポート機能及び携帯端末での運用も可能

定期レポート機能は指定した時刻に指定したセンサーのデータを集約してメール送信します。携帯端末からサイトを閲覧可能



KOKOCHI 画面（イメージ）

導入効果

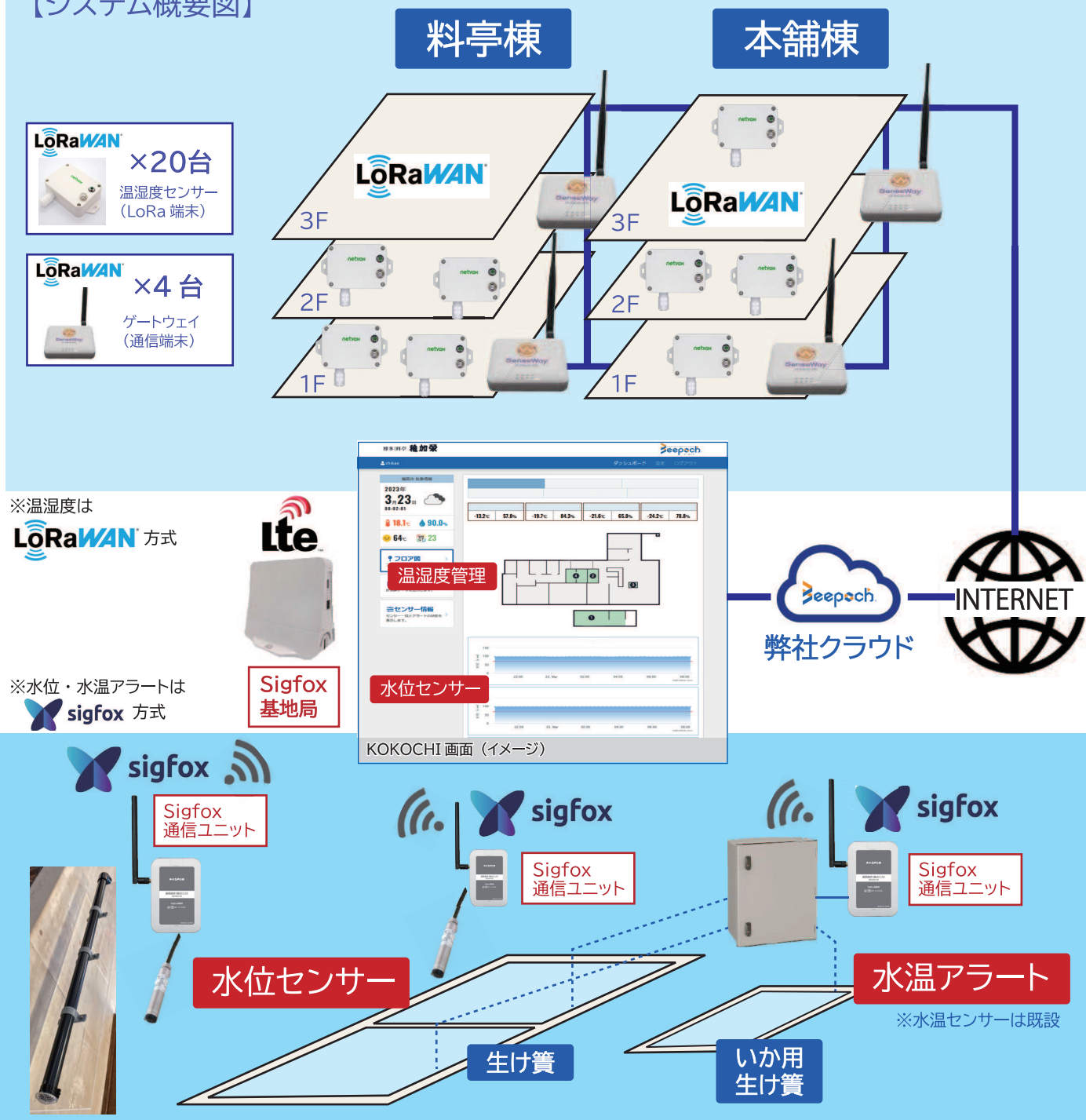
定期的な計測による効率的な現状管理

KOKOCHI での温湿度、水位、水温アラートの統合管理により、効率的な状況把握が可能となり、必要な情報を必要なスタッフが閲覧可能となりました。運用コストの削減も実現して提供サービスの向上に効果を発揮しています。



機器構成と管理画面

【システム概要図】



特長

本舗棟及び料亭棟の冷凍・冷蔵庫内の温湿度センサーは LoRa WAN 方式の通信方法、生け簀の水位センサー及び水位アラートセンサーは Sigfox 方式の通信方法を採用しております。異なる通信方法の機器を同一画面上で管理・表示するレイアウトを提供しています。様々なセンサーや通信手段を統合管理可能です。

今後の展開

今後はお客様のご要望を伺いながら、
一覧表示させたい情報の見える化や
電源供給の監視や熱中症対策のご提案
など、さらに効率的に状況把握が可能
なセンサーなどをご提案して参ります。

納入先のご担当者様

博多|料亭
稚加榮

株式会社稚加榮
営業本部長
柿原 宏 様

